

ヴェルディ レクイエム

イタリアを代表する作曲家ヴェルディが、イタリアの文豪マンゾーニの死を悼み作曲した「レクイエム」は、モーツァルト、フォーレの作品と共に「三大レクイエム」として並び称されています。

死への恐れ、激情から敬虔な信仰心まで表現した、まるでオペラのようにドラマチックな曲想は、まさにヴェルディの真骨頂です。特に、突然爆発的に始まり人々の恐怖と混乱が表される「Dies irae (怒りの日)」は、映画やTV番組、CMで多用され、誰もが耳にしたことがあるでしょう。

人間の生と死への尊厳、平安への祈りが込められた、大聖堂の壁画のようなこの名曲は全世界で繰り返し演奏されています。



川瀬 賢太郎 (指揮)

Kentaro KAWASE, conductor

84年東京生まれ。07年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。指揮を広上淳一等各氏に師事。06年東京国際音楽コンクール(指揮)において1位なしの2位(最高位)に入賞。近年、オーケストラ公演のみならずオペラでも注目を集める若き俊英。

神奈川フィル常任指揮者、名古屋フィル指揮者。八王子ユース弦楽アンサンブル音楽監督。三重県いなべ市親善大使。「渡邊暁雄音楽基金」音楽賞受賞、第64回神奈川文化賞未来賞を受賞。第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回「出光音楽賞」を受賞。

名古屋市民コーラス

創立1959年5月。1994年常任指揮者に長谷順二氏を迎えてからオーケストラ付きの合唱曲に取り組んでいる。現在団員200名。団員は会社員、公務員、主婦、学生等多様で年齢も各世代に亘っている。

選曲から企画運営まですべて団員の話し合いで進められ、じっくり一年かけて密度の高い練習を重ね演奏会に臨んでいる。

2001年3月愛知県芸術文化選奨文化賞受賞。同年3月愛知県合唱連盟より藤井賞受賞。



第44回定期 イギリス宗教音楽の饗宴

《最近の演奏活動》

- 2007 第37回定期 ヴェルディ「レクイエム」
指揮: 山下一史 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2008 第38回定期 メンデルスゾーン オラトリオ「聖パウロ」
指揮: 下野竜也 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2009 創立50周年記念 J.S.バッハ「マタイ受難曲」
指揮: 飯森範親 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2010 第40回定期 ハイドン オラトリオ「四季」
指揮: 鈴木秀美 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2011 第41回定期 ドヴォルザーク「スターバト マーテル」
指揮: 寺岡清高 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2012 名古屋マーラー音楽祭第2部参加「千人の交響曲」
名古屋銀行チャリティーコンサート出演 プーランク「グローリア」
- 2013 第42回定期 ヴェルディ「ナブッコ」
指揮: 柳澤寿男 名古屋フィルハーモニー交響楽団
トヨフジ ボン ボヤージュコンサート出演ベートーヴェン「第九」
- 2014 世界平和コンサートへの道名古屋公演 ベートーヴェン「第九」
指揮: 柳澤寿男 バルカン室内管弦楽団 他
創立55周年記念 ベートーヴェン「荘厳ミサ曲」
指揮: 山下一史 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2015 第44回定期 イギリス宗教音楽の饗宴
ヴォーン ウィリアムズ「ドナ ノービス パーチエム」他
指揮: 藤岡幸夫 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2016 第45回定期 J.S.バッハ「ヨハネ受難曲」
指揮: 本山秀毅 名古屋フィルハーモニー交響楽団

練習会場略図

